

土砂災害啓発センターの活動報告

令和4年2・3月の活動内容

①令和4年2・3月実施の土砂災害に関する防災教育・啓発研修について報告します。なお、2月の防災教育・啓発研修については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止・延期となりました。

1. 上富田町立生馬小学校

3日に6年生が防災RPG第2作目「命を守るハザードマップ」を用いた防災学習をオンライン形式で行いました。学校周辺の土砂災害の危険があるところや事前にハザードマップを確認して災害に備えることを学習しました。

また、制作者である和歌山工業高等専門学校専攻科エコシステム工学専攻(辻原研究室)の西萩一喜(にしはぎかずき)さんにもオンライン形式で参加していただきました。

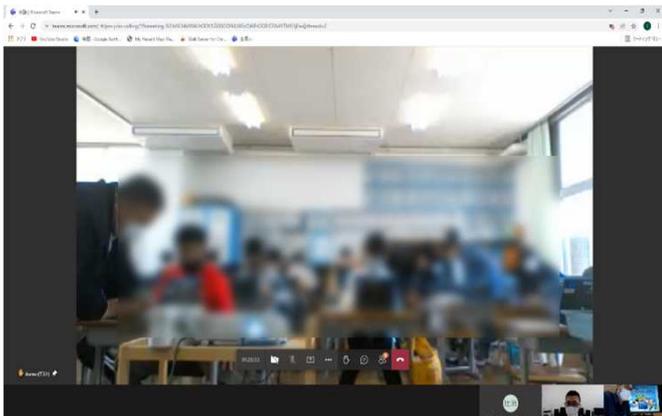
防災RPG第2作目「命を守るハザードマップ」



《ゲームのシナリオ》

避難が必要になってからハザードマップを探しても遅いのです。周辺の土砂災害の危険があるところを見学したり、事前のハザードマップ確認をすることで、災害に備えておきましょう！

防災RPGを使用した学習の様子



2. 那智勝浦町立市野々小学校

15日に5・6年生が防災RPG第3作目「台風にそなえて、じゅんぴをしよう！」を用いた防災学習を行いました。大型台風が近づくことが予想される場合に事前にどのような準備を行うかについて学習しました。

こちらも、制作者である和歌山工業高等専門学校環境都市工学科(辻原研究室)5年生の鈴木義幸(すずきよしゆき)さんにもオンライン形式で参加していただきました。

RPG第3作目「台風にそなえて、じゅんぴをしよう！」



《ゲームのシナリオ》

台風の接近が予想されるある日、事前準備をしています。7枚の事前準備カードから、時間が限られているので選ぶことができるのは3枚。慎重に選んで避難の際に発生するイベントに備える必要があります。いよいよ台風が近づき、窓ガラスが割れ、避難を開始。避難所への避難中に様々なイベントに遭遇します。

防災RPGを使用した学習の様子



土砂災害啓発センターの活動報告

令和4年2・3月の活動内容

3. 新宮市立光洋中学校

15日に2年生が防災学習を行いました。土砂災害の特徴、岩盤の風化、避難行動、タブレットを用いたハザードマップの見方などを学習しました。

スライドによる学習



岩が手で割れる実験



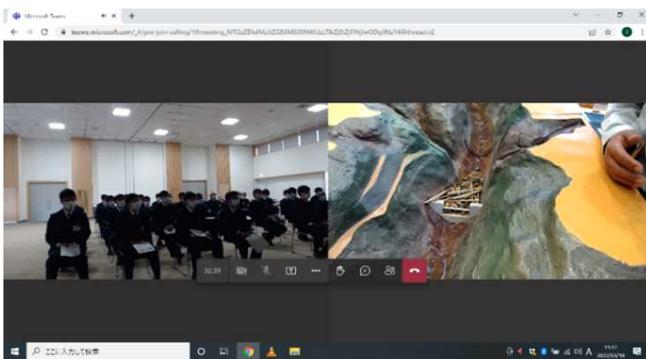
4. 日高広域消防事務組合

18日、25日に日高川町防災センターにおいて、事務組合消防士に土砂災害の特徴や避難行動について啓発研修を行いました。また、啓発センターの土石流模型装置を使用した実験をオンラインで配信しました。

スライドによる研修



土石流実験のオンライン配信



5. 日高川町でのデジタルコンテンツを活用した防災教育の開催に関する説明会の開催

28日に日高川町防災センターにおいて、和歌山工業高等専門学校・土砂災害啓発センター・日高川町が共同で開発したデジタルコンテンツを活用した土砂災害に関する防災教育を、日高川町で継続的に実施することとなり、日高川町内の小中学校向けに説明会を開催しました。

説明会会場の状況



小中学校等各関係者に説明会のオンライン配信



土砂災害啓発センターでは、土砂災害に関する研修を受け入れています。研修をご希望の方は、希望日の一か月前までに、電話またはメールにて事前にご連絡ください。また、研修内容の相談にも応じています。なお、研修室の使用状況等によりご希望に沿えない場合がありますので、あらかじめご承知ください。

【問い合わせ先】

和歌山県土砂災害啓発センター
〒649-5302
和歌山県東牟婁郡那智勝浦町市野々3027-6
TEL:0735-29-7531
メール: e0806041@pref.wakayama.lg.jp